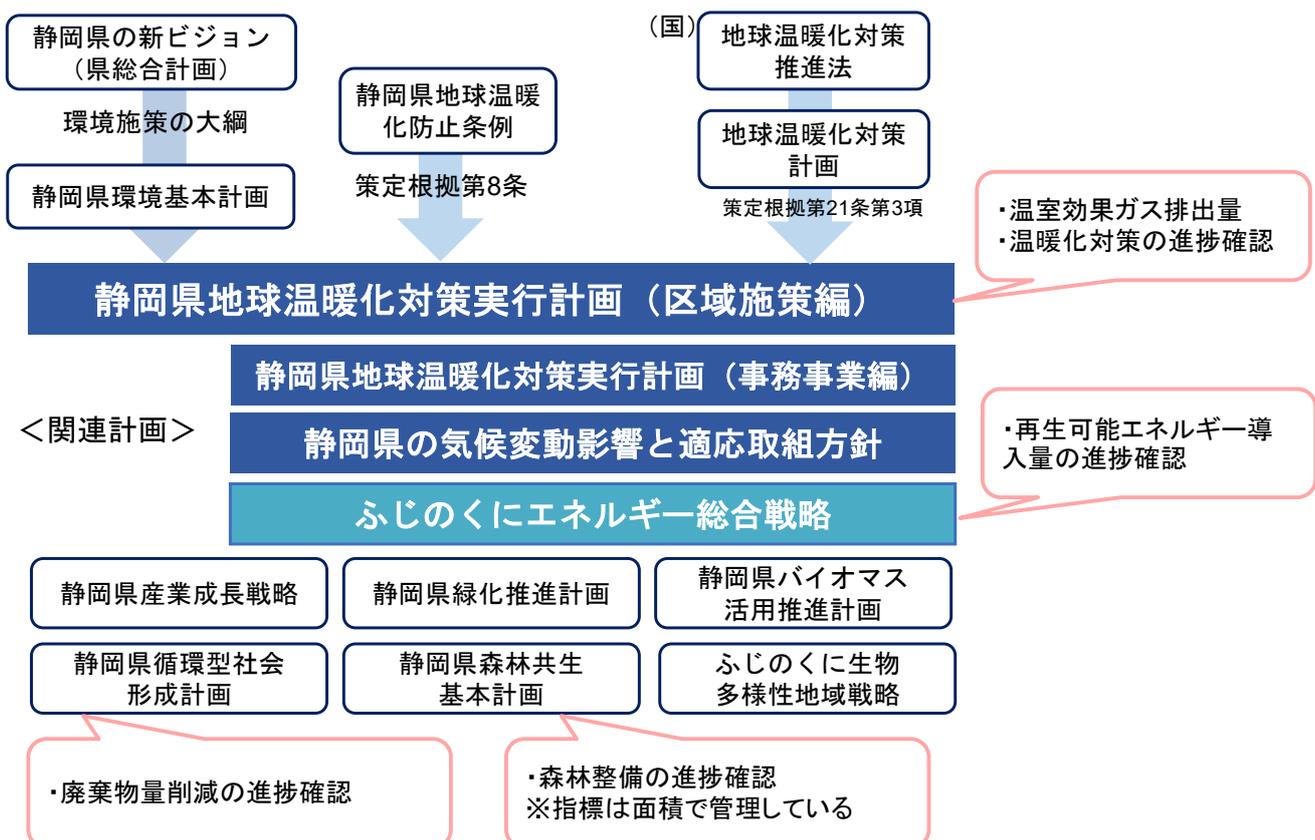


第4次静岡県地球温暖化対策 実行計画の進捗評価

2026年 2月
静岡県環境政策課

1

関連計画の体系図



2

静岡県内の温室効果ガス 2023年度排出状況(速報値)

2023（令和5）年度の温室効果ガス排出量（速報値）は、**2,576**万t-CO₂で、基準年度（2013（平成25））と比べ**25.8%減少**。

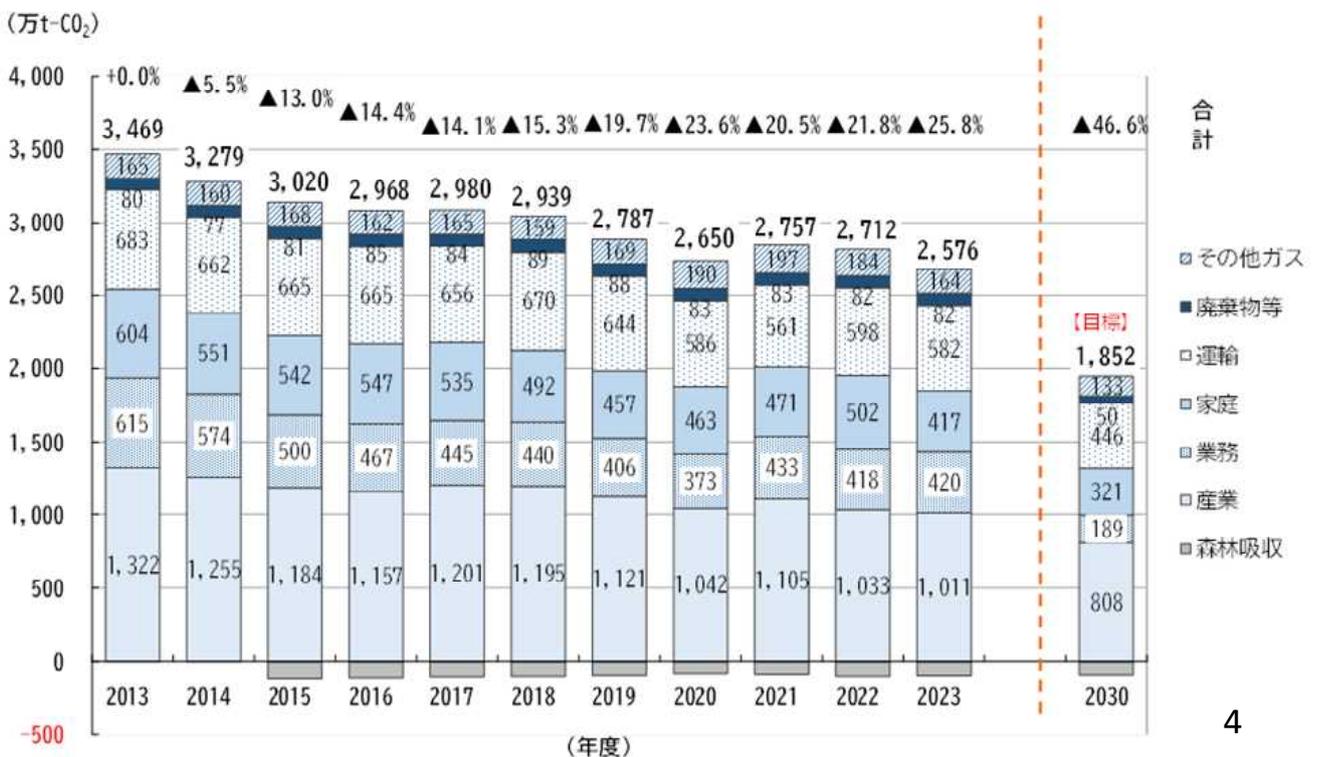
(万t-CO₂)

部 門		<基準年度> 2013(H25)		<目標> 2030(R12)	2023(R5)(速報値)					
		排出量		2013年度比 削減率 (C-A)/A	排出量		2013年度比 削減率 (D-A)/A	(参考)国 2013年度比 削減率	対前年度比 削減率	(参考)国 対前年度比 削減率
		排出量(A)	構成比		排出量(D)	構成比				
二酸化炭素	(内 訳)	3,304	95.2%	▲45.1%	2,512	93.9%	▲24.0%	▲24.8%	▲4.6%	▲4.1%
	産 業	1,322	38.1%	▲38.9%	1,011	37.8%	▲23.5%	▲26.7%	▲2.1%	▲4.0%
	業 務	615	17.7%	▲69.3%	420	15.7%	▲31.7%	▲29.7%	+0.6%	▲6.2%
	家 庭	604	17.4%	▲46.8%	417	15.6%	▲30.9%	▲29.7%	▲17.0%	▲6.8%
	運 輸	683	19.7%	▲34.8%	582	21.8%	▲14.7%	▲15.2%	▲2.7%	▲0.7%
	廃棄物等	80	2.3%	▲38.0%	82	3.1%	+1.9%	+0.2%	+0.0%	▲3.4%
その他ガス		165	4.8%	▲19.1%	164	6.1%	▲0.6%	+1.3%	▲10.7%	▲2.6%
温室効果ガス排出量 計		3,469	100%	▲43.9%	2,676	100%	▲22.9%	▲23.3%	▲5.0%	▲4.0%
森林吸収		-	-	-	▲100	-	-	-	▲4.2%	▲0.8%
排出・吸収量 総計		3,469	-	▲46.6%	2,576	-	▲25.8%	▲27.1%	▲5.0%	▲4.2%

3

静岡県内の温室効果ガス排出状況の推移(2023年度速報値)

2023年度の排出量は、基準年度より**25.8%減少**となったが、対前年度比では**5.0%減少**となった。



4

静岡県内の温室効果ガス排出状況の推移(主な要因分析)

【全体概況】

- ・新型コロナウイルスの影響により排出量が一時的に大きく減少した2020年以降、行動制限の解除に伴い経済活動が再開された反動により、2021 - 2022は増加傾向に転じていた。
- ・2023年5月の5類感染症移行に伴い経済活動は平静を取り戻し、排出量も従前の減少傾向にほぼ戻ったと考えられる。(2022年度期待値▲27.0%→実績▲25.8%)

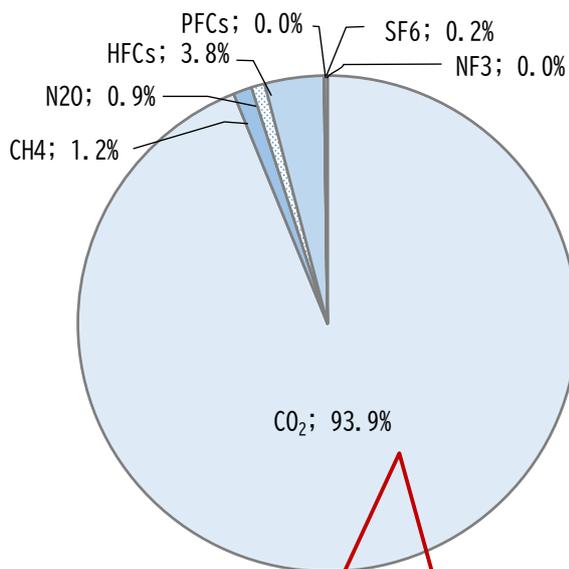
<部門別の傾向と主な要因等>

部門	傾向		主な要因等
	2013年度比	前年度比	
産業	国とほぼ同等	国とほぼ同等	2023年度は製造業が全体の92%。2013年度比の業種別ではパルプ・紙・紙加工品製造業(▲41.6%)、機械製造業(▲24.5%)、化学工業(▲16.0%)の順で減少傾向にある。
業務	国とほぼ同等	国は減少、本県は微増	前年度比の業種別では教育・学習支援業(+36.3%)、電力消費種別では宿泊・飲食業(+1.38%)、生活関連サービス・娯楽業(+1.42%)が要因と考えられる。
家庭	国とほぼ同等	国よりも大きく減少	2022年度対前年度比: 県+6.6%、国▲1.4% ※国は異常値を補正、県は補正せず 2023年度対前年度比: 県は前年度の異常値と比較しているため、大幅に減 国は前年度の補正済み値と比較しているため、小幅な減 (参考)前年度比電力消費量: エネルギー消費統計(▲25.8%)、電力調査統計(▲1.8%)
運輸	国とほぼ同等	国とほぼ同等	2023年度は自動車全体が全体の95%。2013年度比の自動車の内訳は、軽乗用車(+11.4%)、乗用車(▲27.8%)、貨物車(▲9.4%)、バス(▲30.8%)である。
廃棄物等	国とほぼ同等	国は減少、本県は微増	2013年度比: 一廃(▲3.4%)、産廃(+8.1%)、産廃の内訳は廃油(▲16.7%)、廃プラ(+27.1%)、廃プラの内訳: 建設業(+6.7%)、卸売・小売業(+125%)が要因と考えられる。
その他ガス	国とほぼ同等	国よりも大きく減少	HFCsの対前年度比内訳は、製造・使用時漏出(▲7.6万t): 特定企業の運用改善が要因、冷蔵庫・エアコン使用・廃棄時漏出(▲10.2万t): 全国充填量増に伴う本県割合減少が要因
森林吸収	-	国よりも大きく減少	県内森林における人工林の高齢級のスギ・ヒノキの増加及び成長量の大きい若齢林の減少等が要因と考えられる。

5

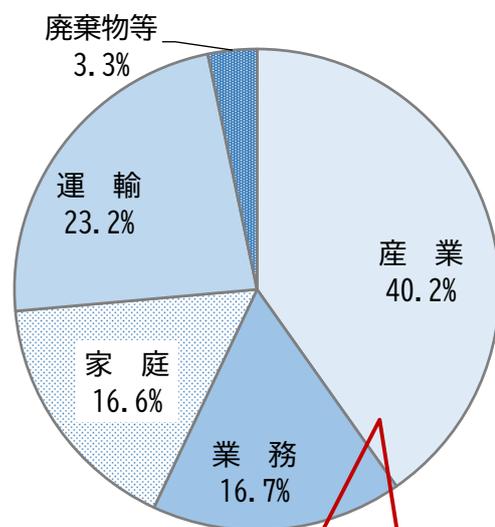
温室効果ガスの種類別、二酸化炭素排出量の部門別構成

温室効果ガスの種類別構成



二酸化炭素が全体の93.9%

二酸化炭素排出量の部門別構成

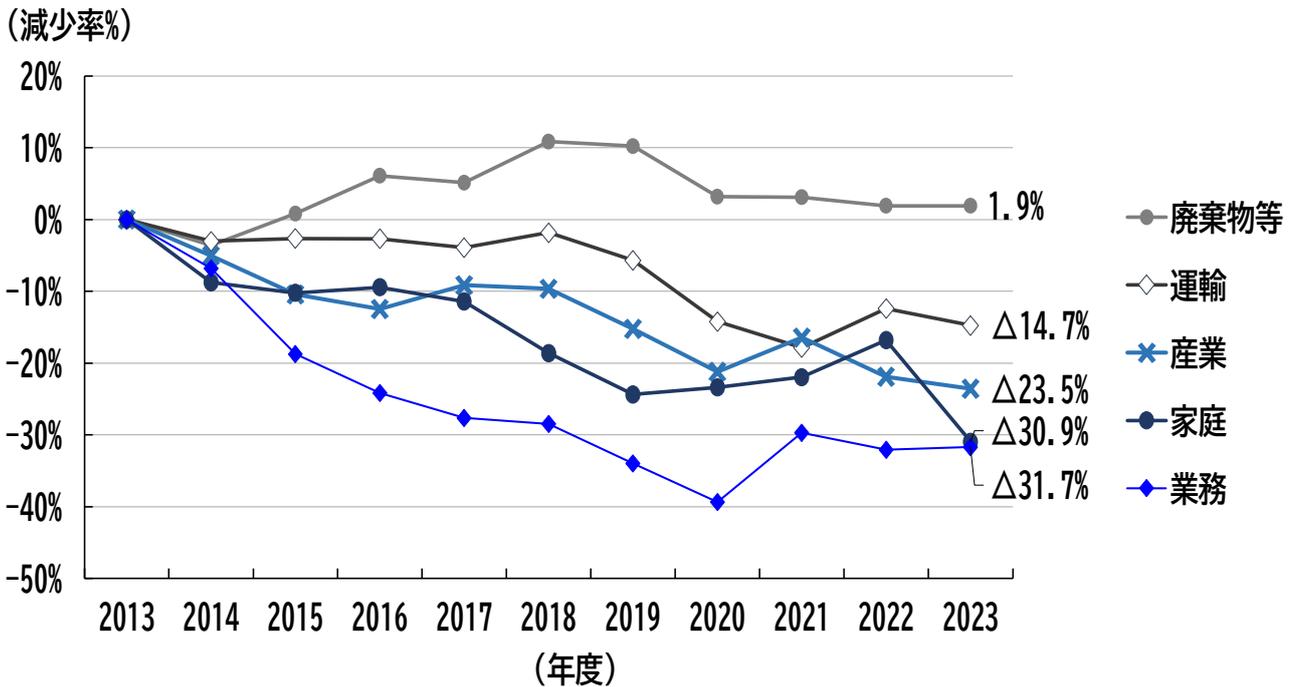


産業部門が全体の40.2%

6

二酸化炭素排出量の部門別推移

廃棄物等を除く4部門は、いずれも基準年度（2013年度）から減少しているが、業務部門は前年度より増加

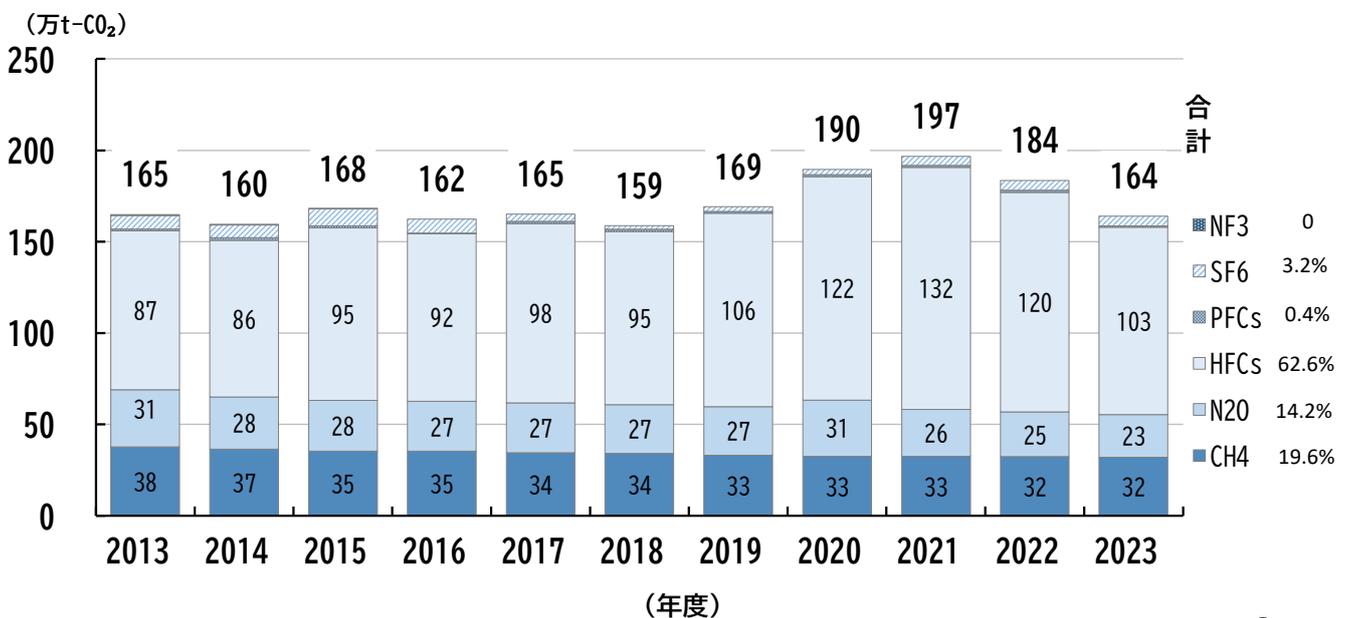


7

その他ガスの排出状況

2013年度からその他ガスの排出量は、基準年度から0.6%減少

特に、代替フロン（HFCs）は、特定フロンの代替として利用が進んでいたが、自然冷媒の採用等により、対前年度比で14.6%削減



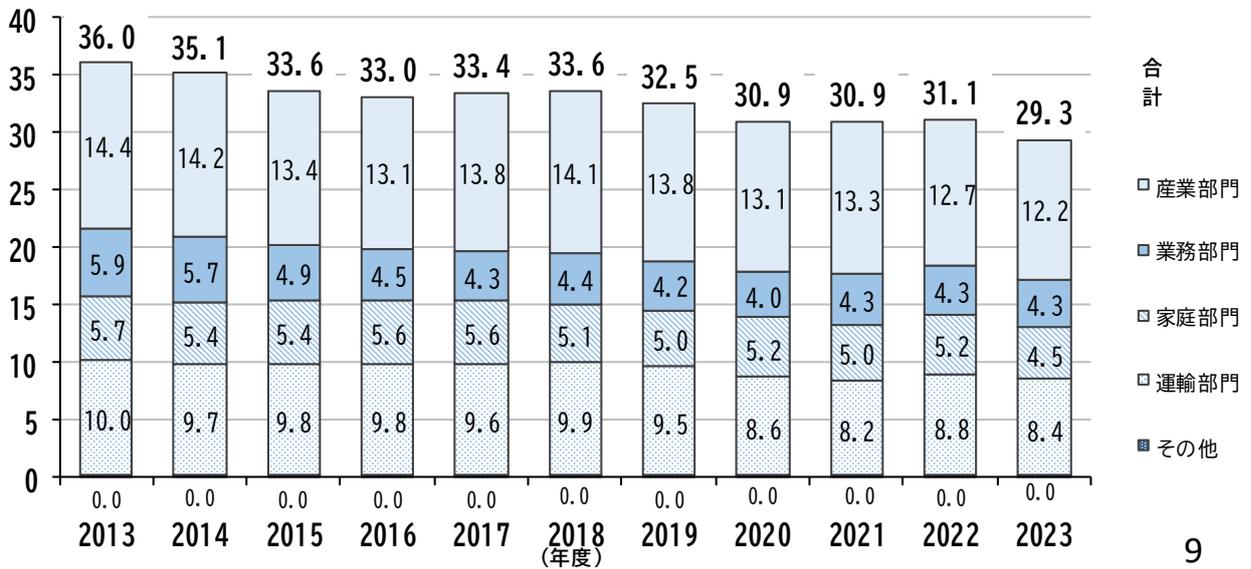
8

排出量を決める要因①

エネルギー消費量

2023年度のエネルギー消費量は2013年度比**18.5%減少**
 最もエネルギー消費量が多いのは産業部門、全体の**41.5%**
 各部門とも、いずれも減少傾向

(万TJ)



9

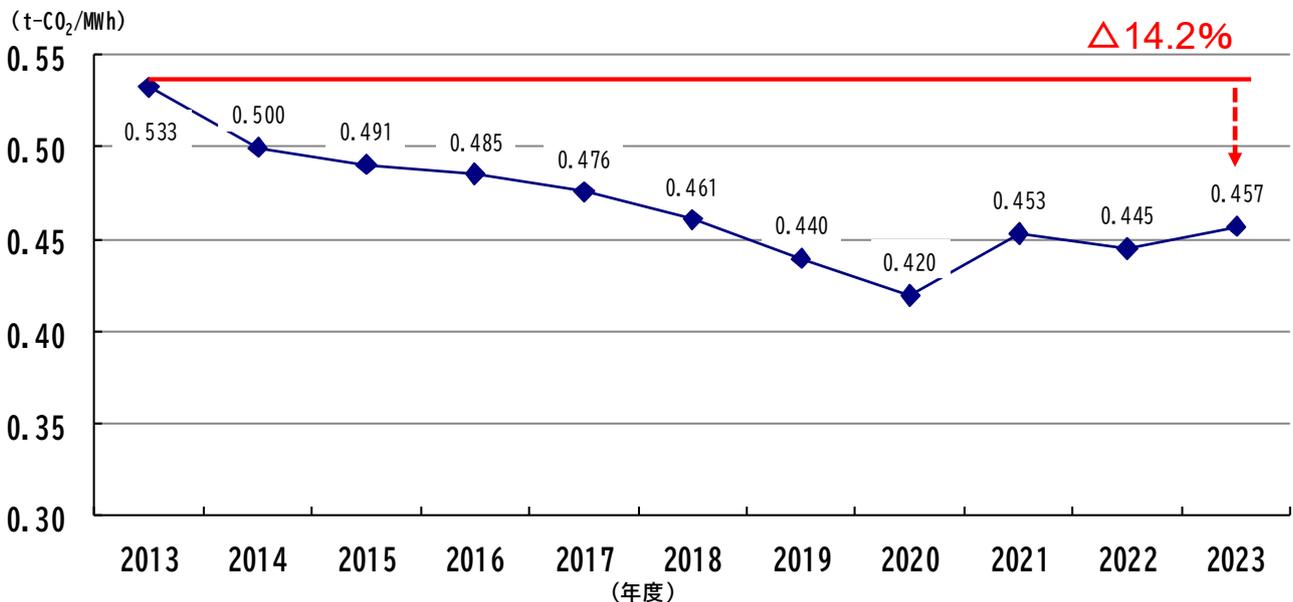
排出量を決める要因②

電力事業者の排出係数

排出係数とは、1KWh当たりの電力供給に排出されるCO₂量

○基準年度と比べて電力の二酸化炭素排出係数は**14.2%減少**

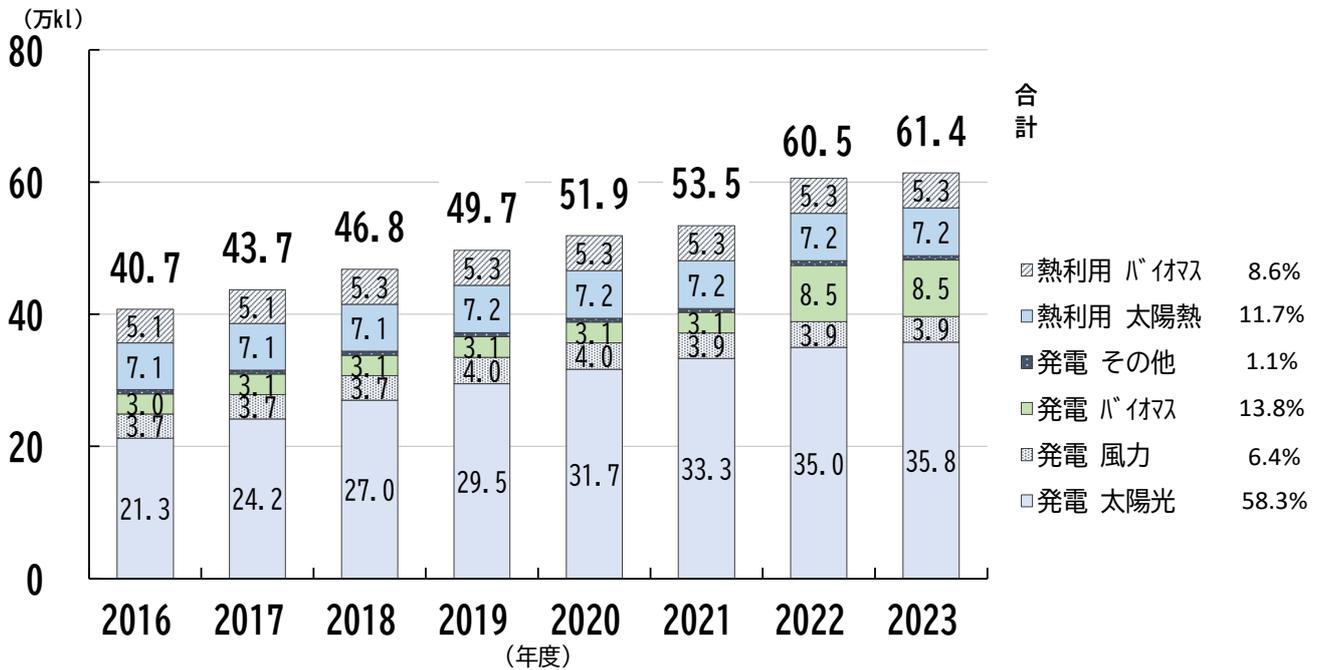
【電力事業者の排出係数の推移（都道府県別エネルギー消費統計から算出）】



10

再生可能エネルギー導入量

○県内の再エネ導入量は毎年増加しており、太陽光発電が全体の58%を占めている。



11

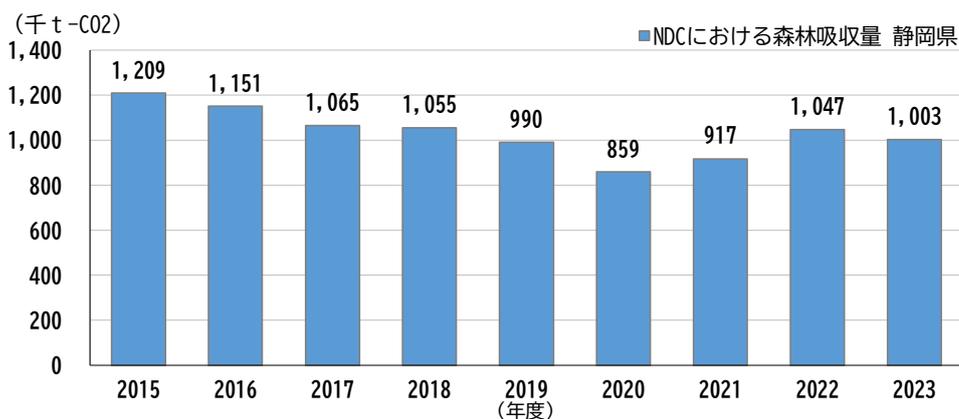
森林吸収量

県土の6割に当たる約50万haの森林による2023年度の二酸化炭素吸収量は100.3万t-CO₂/年

温室効果ガス排出量の約3.7%を森林が吸収

(単位：万t-CO₂)

吸収源活動	2023(R5)年度(国)	2023(R5)年度(県)
森林吸収源対策		
新規植林・再植林活動	-138	1.1
森林減少活動	+284	
森林経営活動	-4,663	-101.3
パリ協定NDC(国が決定する貢献)に基づく算出方法に基づく森林吸収源対策による吸収量	-4,188	-100.3
合計	-4,188	-100.3



12

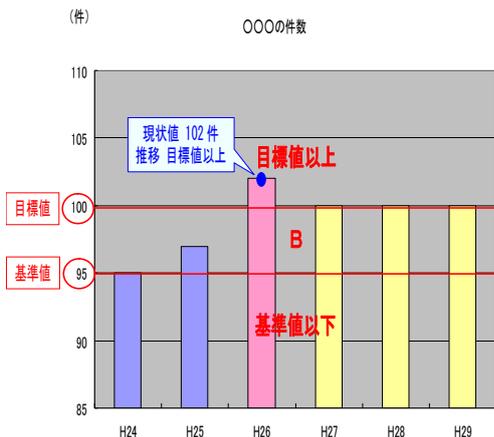
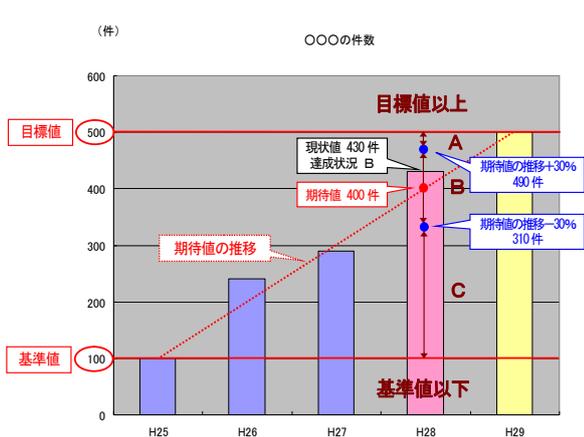
管理指標の達成状況(全体)

8割を超える30指標がB以上であり、数値目標の達成に向け、概ね順調に推移している。

区 分	指標数 (達成状況区分別)						計
	目標値以上	A	B	C	基準値以下	—	
温室効果ガス排出量削減率	0	0	1	0	0		1
1 各部門の徹底した省エネルギー対策等の推進	11	1	4	2	0		18
2 再生可能エネルギー等の導入・利用促進	1	1	4	0	0		6
3 技術革新の推進	1	0	3	0	0		4
4 吸収源対策の推進	1	0	2	1	4		8
合計	14	2	14	3	4		37

【参考】 達成状況区分、数値目標の推移の考え方

区 分	内 容
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
目標値 ～ 基準値	A 「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
	B 「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
	C 「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等



第4次静岡県地球温暖化対策実行計画の進捗状況：評価

温室効果ガス排出量削減

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
県内の温室効果ガス排出量の削減率 (2013年度比)	(2018) △13.0%	(2023) △25.8%	(2023) △27.0%	(2030) △46.6%	B

方針1 各部門の徹底した省エネルギー対策等の推進

ア 全体

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
エネルギー消費量（産業+運輸+家庭+業務部門） 削減率（2013年度比）	(2018) △6.5%	(2023) △18.5%	(2023) △15.7%	(2030) △28.6%	B

イ 産業・業務部門

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
省エネ診断実施回数	(2017~2020) 累計260回	(2022~2024) 累積390回	(2022~2024) 累積210回	(2022~2025) 累計280回	目標値 以上
事務所の省エネ化に関するセミナー等参加者数	(2017~2020) 平均138人	(2024) 194人	(2024) 200人	毎年度 200人	B
新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む 事業者数	(2022) 127者	(2024) 475者	(2024) 158者	毎年度 158者	目標値 以上
BELS認証取得件数（非住宅★3以上）	(2020) 累計49件	(2024) 累計171件	(2024) 累計89件	(2030) 累計150件	目標値 以上

15

第4次静岡県地球温暖化対策実行計画の進捗状況：評価

方針1 各部門の徹底した省エネルギー対策等の推進

ウ 家庭部門

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
ふじのくにCOOLチャレンジ「クルポ」アクション数	(2020) 159,518 件/年	(2024) 1,858,018 件/年	(2024) 1,200,000 件/年	(2030) 1,200,000 件/年	目標値 以上
住宅の省エネ化に関するセミナー等参加者数	(2020) 158人	(2024) 416人	(2024) 400人	毎年度 400人	目標値 以上
長期優良住宅の累計ストック数	(2020) 67,761戸	(2024) 95,678戸	(2024) 92,657戸	(2030) 130,000戸	B

エ 運輸部門

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
電気自動車用充電器設置数	(2020) 970基	(2024) 1,642基	(2024) 1,154基	(2025) 1,200基	目標値 以上
公用車の電動化率	(2021) 6.1%	(2024) 13.4%	(2024) 37.3%	(2030) 100%	C
渋滞対策実施率	(2020) 72.7% (40箇所)	(2024) 100% (55箇所)	(2024) 95% (53箇所)	(2030) 100% (55箇所)	目標値 以上
道路照明等のLED化率	(2020) 17% (1,455基)	(2024) 65.4% (5,899基)	(2024) 83% (7,115基)	(2030) 100% (8,572基)	B
地域住民が利用しやすいバス車両の導入率	(2019) 76.4%	(2023) 88.6%	(2023) 85%	(2025) 89.4%	A

16

第4次静岡県地球温暖化対策実行計画の進捗状況：評価

方針1 各部門の徹底した省エネルギー対策等の推進

オ その他

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
一般廃棄物排出量（1人1日当たり）	(2019) 885g/人日	(2023) 807g/人日	(2023) 864g/人日	(2030) 826g/人日 以下	目標値 以上
産業廃棄物最終処分量	(2019) 229千t/年	(2023) 228千t/年	(2023) 229千t/年	毎年度 229千t以下	目標値 以上

カ 分野横断

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
環境保全活動を実践している若者世代の割合	(2021) 77.4%	(2024) 77.7%	(2024) 78.3%	(2030) 80.0%	C
県が、SNS、動画を活用して環境教育に関する情報発信を行った回数	(2020) 34回	(2024) 82回	(2024) 40回	毎年度 40回以上	目標値 以上
集約連携型都市構造の実現に向けた取組件数	(2020) 312件	(2024) 412件	(2024) 390件	(2025) 410件	目標値 以上

17

第4次静岡県地球温暖化対策実行計画の進捗状況：評価

方針2 再生可能エネルギー等の導入・利用促進

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
再生可能エネルギー導入量	(2020) 52.3万kl	(2023) 61.4万kl	(2023) 62.0万kl	(2030) 84.7万kl	B
県内の電力消費量に対する再生可能エネルギー等の導入量	(2020) 18.2%	(2023) 22.8%	(2023) 21.8%	(2030) 30.6%	B
太陽光発電導入量	(2020) 226.3万kw	(2023) 255.9万kw	(2023) 258.7万kw	(2030) 334.3万kw	B
バイオマス発電導入量	(2020) 5.0万kw	(2023) 13.6万kw	(2023) 11.3万kw	(2030) 26.0万kw	A
中小水力発電導入量	(2020) 1.3万kw	(2023) 1.4万kw	(2023) 1.36万kw	(2030) 1.4万kw	目標値 以上
水素ステーション設置数	(2020) 3基	(2024) 7基	(2024) 8基	(2030) 15基	B

18

方針3 技術革新の推進

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会において、技術開発に取り組むワーキンググループ数	(2020) 8件	(2024) 15件	(2024) 12件	(2030) 13件	目標値以上
エネルギー関連機器・部品製品化支援件数	(2018～2020) 累計9件	(2022～2024) 累計11件	(2022～2024) 累計9件	(2022～2025) 累計12件	B
次世代自動車分野における試作品開発等支援件数	(2019～2020) 累計38件	(2022～2024) 累計62件	(2022～2024) 累計63件	(2022～2025) 累計84件	B
ふじのくにCNFプロジェクトにおける試作品開発等支援件数	(2018～2020) 累計19件	(2022～2024) 累計20件	(2022～2024) 累計21件	(2022～2025) 累計28件	B

方針4 吸収源対策の推進

指標	(年度) 基準値	(年度) 現状値	(年度) 期待値	(年度) 目標値	区分
森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積	(2020) 10,314ha	(2024) 9,877ha	(2024) 11,490ha	毎年度 11,490ha	基準値以下
森林の二酸化炭素吸収量を確保する間伐面積	(2020) 8,408ha	(2024) 7,972ha	(2024) 9,990ha	毎年度 9,990ha	基準値以下
再造林面積	(2020) 236ha	(2024) 175ha	(2024) 500ha	毎年度 500ha	基準値以下
木材生産量	(2020) 42.1万m ³	(2024) 41.1万m ³	(2024) 50万m ³	毎年 50万m ³	基準値以下
住宅や建築物で利用される品質の確かな県産材製品（JAS製品等）の供給量	(2020) 9.7万m ³	(2024) 10.3万m ³	(2024) 10.74万m ³	(2025) 11万m ³	C
公共部門の県産材利用量	(2020) 21,170m ³	(2024) 24,590m ³	(2024) 23,000m ³	毎年度 23,000m ³	目標値以上
木質バイオマス（チップ）用材生産量	(2020) 5.7万m ³	(2024) 9.4万m ³	(2024) 10万m ³	毎年 10万m ³	B
地域の緑化活動団体数	(2020) 187団体	(2024) 293団体	(2024) 277団体	(2025) 300団体	B